

施策・基本事業評価表

作成日 平成 23 年 4 月 13 日

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち
施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
主管課名	企画政策課	主管課長名	川岸勇一
関係課名	農林水産課、商工観光課、生涯学習スポーツ課、学校教育課、地域協働課、埋没林博物館、水族博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や農林水産業と連携した体験・交流の場を求めて多くの人が本市を訪れています。 ・全国に発信できる様々な芸術文化やスポーツ等のイベントが本市で開催されています。 ・国際社会への理解が進み、市民の国際感覚が豊かになり、活発な交流が行われています。 ・外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整備され、まちがにぎわっています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	大学女子野球など全国から多くの人が集まる各種大会やイベントを応援し、盛り上げます。 市民レベルの国際交流に参加します。
	行政	片貝山の守キャンプ場、新川学びの森天神山交流館、博物館などの宿泊型公共施設や体験学習施設の充実を図ります。 国際交流の場を企画し、提供します。 外国人が訪れやすい環境を整備します。
	その他（地域）	地域の伝統文化の伝承や、イベントの実施など地域の魅力アップを図ります。 農山漁村で自然や文化、住民との交流を楽しむことができる機会づくりに協力します。

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<p>近年、体験交流型・滞在型観光のニーズが増えており、農林水産業や自然を活用したメニューの提供や受入体制の整備が課題となっています。また、全日本大学女子野球選手権大会をはじめ全国から多くの人が本市を訪れる各種大会やイベント等を開催し、交流人口の拡大を図る必要があります。</p> <p>本市には様々な国の外国人が居住し、市民レベルの国際交流が行われています。市民にとって、国際化は身近なものになってきており、これからは、さらに外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境を整える必要があります。</p>
--------------------	--

施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
-------	----	-----	----------

基本事業名①		事業内容(活動内容)								
体験・滞在型交流の推進		自然資源を活かした体験メニューの提供や、農山村漁村に滞在するグリーンツーリズム、ブルーツーリズムの発掘に努めます。交流宿泊施設が県内外からの合宿や学習の場として多く利用されるようPRに努めます。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
農山漁村交流事業		農林水産業や自然を活用したメニューを提供する。								
交流宿泊施設利用促進事業		片貝山ノ守キャンプ場、新川学びの天神山交流館や博物館を充実し、利用促進を図る。								
基本事業①の目的【意図】		交流人口が拡大することで、農山漁村をはじめ地域が活性化する。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
新川学びの森天神山交流館宿泊者数	人	2,646	2,800	3,000	3,200	3,300	3,400	3,500	4,000	
片貝山の守キャンプ場利用者数	人	1,925	6,000	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	15,000	
			2,761							
			7,163							
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
イベント開催、コンベンションの誘致		全国から多くの方が本市を訪れ、市民との交流の機会が拡大するよう芸術・文化、スポーツイベント等を開催します。また、各種コンベンションを誘致し、まちのにぎわいを創出します。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
コンベンション開催支援事業		県外宿泊者50名以上のコンベンションに対して1人1泊1000円を助成する。(限度額50万円)								
全日本大学女子野球選手権大会		市民ぐるみで大会を応援・協力し、開催経費の一部を市が助成する。								
魚津しんきろうマラソン		市民ぐるみで大会を応援・協力し、開催経費の一部を市が助成する。								
全国山城サミット開催		平成23年に県内山城サミットを、平成24年に全国山城サミットを魚津市で開催する。								
基本事業②の目的【意図】		全国から多くの方が各種大会やイベントで本市を訪れることで、まちがにぎわい、活性化する。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
コンベンション開催数	回	5	5	6	7	8	9	10	15	
魚津しんきろうマラソン参加者数	人	3,914	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400	4,500	5,000	
			4,288	4,499						
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
国際交流の推進		国際社会との共生、交流を目指し、国際交流事業を展開します。市民間の国際交流事業の支援に努めます。外国人が訪れ、過ごしやすい環境を整備し、多様な交流を推進します。								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
国際交流推進事業		国際交流推進員やALTによる異文化交流事業や、ボランティアによる日本語教室等を実施する。								
友好親善都市交流事業		タイ王国チェンマイ市との友好交流を推進する。								
基本事業③の目的【意図】		活発な国際交流を通して、市民の国際社会への理解が進むとともに、(在住)外国人が暮らしやすくなっている。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
国際交流推進員登録者数	人	13	15	17	20	22	24	25	30	
外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境が整っていると感じる市民の割合	%	13.5	15.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	30.0	
			9.9							
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
-------	----	-----	----------

22年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) ①農林水産業体験活動が行われているが、交流が進んでいると思う市民の割合は、20%前後の低い数値で推移している。 ②魚津しんきろうマラソン大会の参加者数は年々増加しており、平成22年度は過去最高の参加となった。 ③CIR(国際交流員)廃止により、国際交流に関する取り組み、事業が激減した。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) 近隣他市においても、それぞれの特長を生かした取り組みを実施している。 黒部市、滑川市にはCIRがいることと比較し、本市の事業内容や取り組み水準は高いとはいえない。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) 新総合計画策定のためのアンケートでは、「農林水産業を生かした交流の促進」施策に対する市民の満足度は低い。 市民アンケートでは、外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整っていると感じる市民の割合は低い水準となっている。
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述) ①平成21年度に自然とふれあい、宿泊も可能な施設として「片貝山ノ守キャンプ場」を整備、オープンした。 新川学びの森天神山交流館は、音楽や各種合宿の場として、県内外から多くの人に利用されている。 今年度、地引き網漁業体験などで観光客誘致を図るため、経田漁港でドキドキフェスタなど漁業再生事業を実施した。 ②毎年、魚津しんきろうマラソン大会や全国大学女子野球大会に、多くの人が参加し、本市を訪れている。 魚津しんきろうマラソン大会については、参加者の利便を考慮し、発着場所を平成22年度からありそドームに変更した。 また、平成22年度は全国スポレク祭が富山県で開催され、本市も2競技の会場地となり、県内外から1,400名余りが参加し、約520名が本市で宿泊した。 ③友好親善都市の岡山県井原市とは、相互の産業フェア(まつり)やマラソン大会に市民や市職員が参加している。また、小学生を対象とした児童交流事業を実施しているほか、ライオンズクラブやシニア野球交流なども行われている。 国外のタイ王国チェンマイ市とは、平成22年度は特に交流事業は実施していない。
3. 施策の課題認識及び23年度の取り組み状況(予定) (22年度末で残った課題、既に23年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) ①農林水産業や自然を生かした体験・滞在型の交流の内容や提供体制が今後の大きな課題である。また、山ノ守キャンプ場や天神山交流館の宿泊者や利用者が増えるような事業の企画立案も望まれる。 このため、平成23年度から、関係課や関係団体が連携しながら、魚津の水循環を体験できるツアーや博物館を中心とした学びの場の提供などを内容とする「水の学び舎事業」に取り組む。 ②魚津しんきろうマラソン大会や大学女子野球選手権大会など市外から多くの人が参加する大会を、今以上に市民全体で盛り上げていくことが望まれている。平成23年度は、大会に対する市からの助成額を増額する。 市制60周年の平成24年度に全国山城サミットなどの大会を予定しており、そのプレイベントとして平成23年度は県内山城サミットを開催する。 ③友好親善都市交流事業を実施する。 市制60周年記念事業を契機に、チェンマイ市との友好親善都市交流事業の充実を検討する。	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	※今後の施策の方向性※ 拡大 交流人口の拡大を図ることが、地域経済の活性化につながることから、さらに取り組みを拡大する必要がある。 具体的には、市宿泊施設の利用者や博物館等の入場者が増えるような企画立案を行うほか、しんきろうマラソンなど既存事業や各種イベント等についても、さらに充実を図る必要がある。また、市制60周年記念事業として開催する「全国山城サミット」や「全国山・鉦・屋台保存連合会総会」に市外から多くの人が参加する大会の誘致に向けた各課での継続的な取り組みや市内の各団体との情報交換や情報発信が必要である。 国際交流の推進については、日本で唯一タイ・チェンマイ市と友好親善都市を締結している市という点を生かした新しい交流の取り組みが望まれる。
---	--

行政経営戦略会議指示事項	部会評価のとおり。チェンマイ市については情報交換に努めること。
--------------	---------------------------------

施策の トータル コスト	区 分	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数						
B. 事業費(事務事業の事業費合計)	千円							
C. 事務事業に要する年間総時間	時間							
D. 人件費(C×1時間あたりの平均人件費)	千円		0	0				
E. トータルコスト(B+D)	千円		0	0				
効率性 指 標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の	円		0	0			
	F. 事業費(定義式: B/人口)							
	同 上	円		0	0			
	G. 人件費(定義式: D/人口)							
同 上	円		0	0				
H. トータルコスト(定義式: E/人口)								